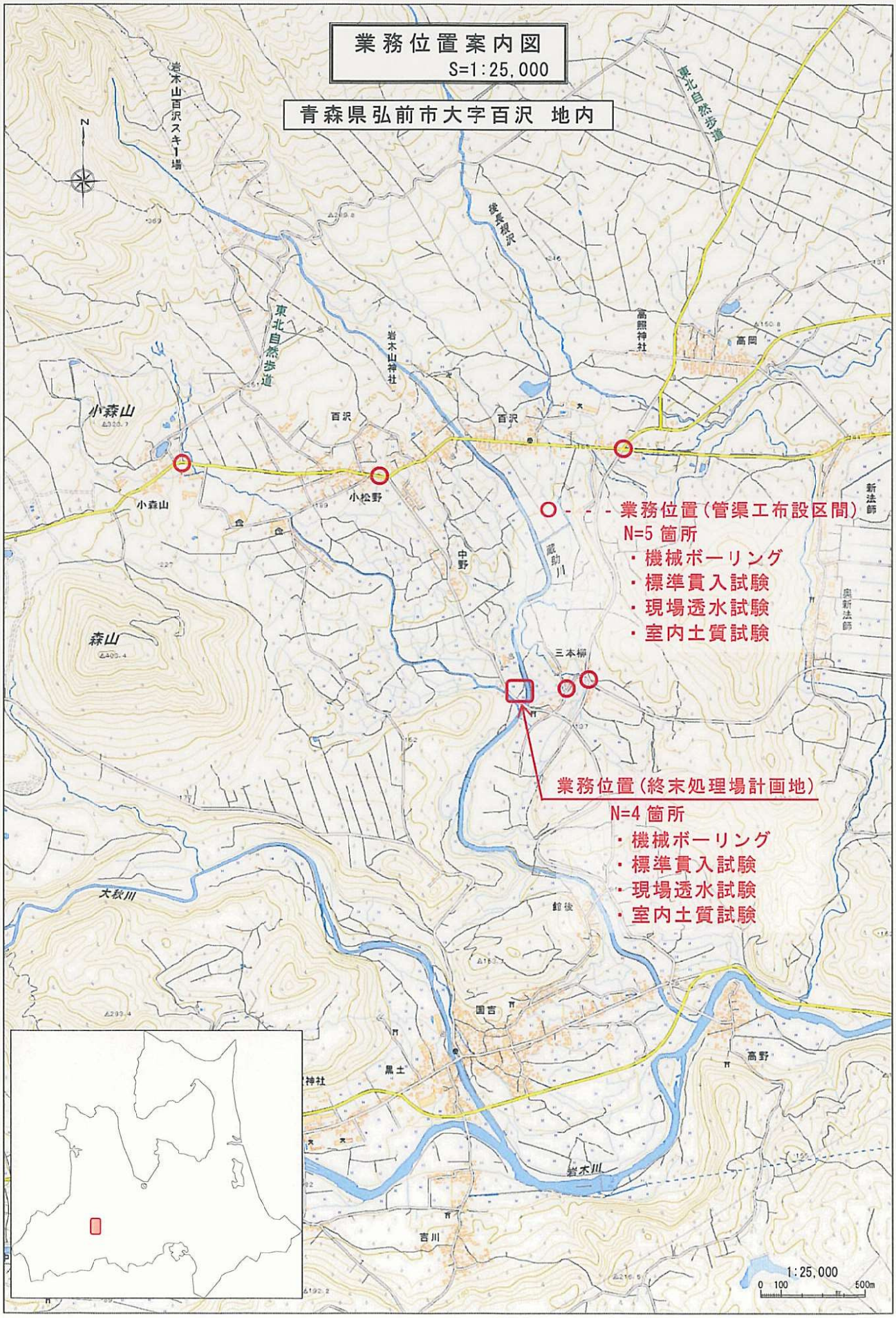
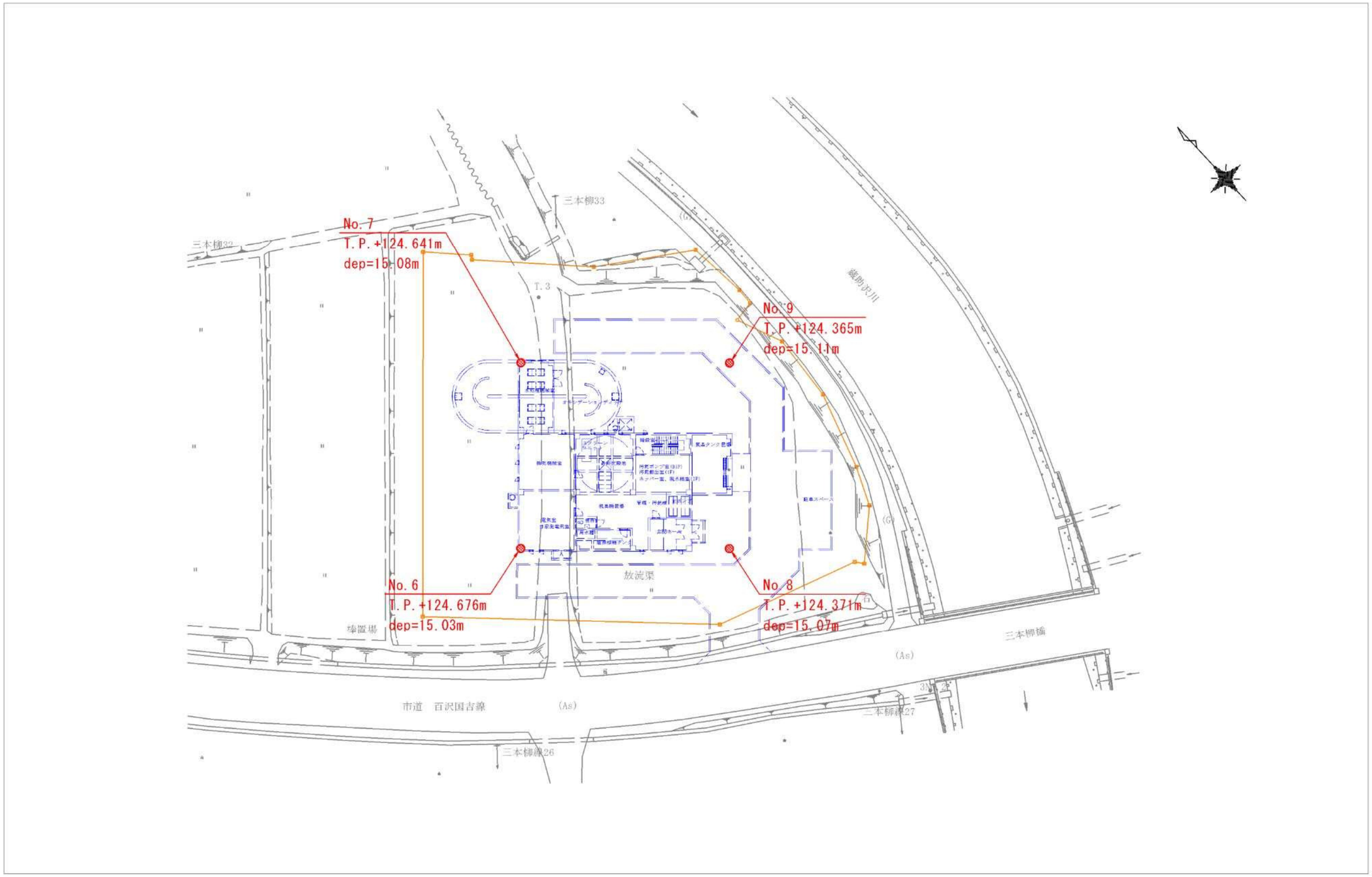

業務位置案内図
S=1:25,000
青森県弘前市大字百沢 地内
岩木山百沢スキー場
東北自然歩道
後長根沢
高照神社
高岡
岩木山神社
百沢
小森山
小松野
中野
蔵助川
新法師
奥新法師
森山
三本柳
業務位置（管渠工布設区間）
N=5 箇所
・機械ボーリング
・標準貫入試験
・現場透水試験
・室内土質試験
業務位置（終末処理場計画地）
N=4 箇所
・機械ボーリング
・標準貫入試験
・現場透水試験
・室内土質試験
大秋川
館後
国吉
黒土
高野
岩木川
吉川
1:25,000
0 100 500m

調査位置平面図（管渠工布設区間）
S=1:10,000



調査位置平面図（終末処理場計画地）
S=1:500

ボーリング柱状図

調　査　名　平成26年度　百沢地区地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo	H27-1

シートNo　1

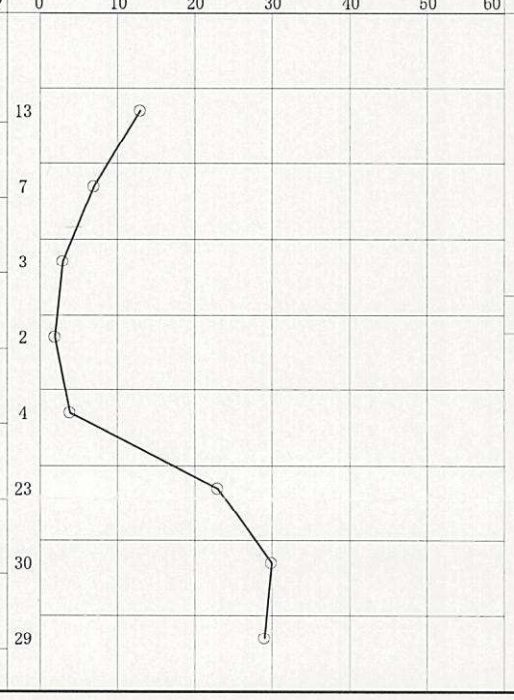
ボーリング名	No.1	調査位置	青森県弘前市百沢　地内							北緯	40° 37′ 7″
発注機関	弘前市　上下水道部				調査期間	平成 27年 6月 17日 ～ 27年 6月 18日				東経	140° 19′ 46″
調査業者名	株式会社　弘測コンサル 電話（0172-33-6820）	主任技師	宮本　伸悦		現場代理人	宮本　伸悦	コア鑑定者	宮本　伸悦		ボーリング責任者	宮本　伸悦
孔口標高	T.P. +223.743m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機	鉱研式　OP-1型	ハンマー落下用具　半自動型
総掘進長	8.45m								エンジン	ヤンマーディーゼルNFAD-8型	ポンプ　鉱研式　KP-2型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	223.44	0.30	0.30		盛土(礫)	暗灰			GL-0.05mまでアスファルト、以深、φ20mm以下の砕石。
	223.24	0.20	0.50						
1	222.74	0.50	1.00		盛土(砂)	暗灰			砂の粒径は中位が主体。
					盛土(礫混じりシルト)	暗褐			φ30mm以下の角礫を混入。
2	221.59	1.15	2.15		粘土混じり砂礫	暗褐	中位の		砂の粒径は粗～細位と不均一。φ30mm程度以下の亜角礫を混入。GL-1.55m付近よりφ150mm程度の玉石を混入。GL-1.70m付近より以深、砂の混入量が優勢。含水量少ない。
3	220.84	0.75	2.90						
4					礫混じり粘土	茶褐		中位の	φ10mm程度以下の亜角礫を混入。粘性はやや強い。含水量は少ない。
	218.94	1.90	4.80		砂混じりシルト	暗灰～暗褐灰		非常に軟らかい	全般に火山灰質を呈する。所々、φ10mm程度の亜角礫を混入。GL-3.70m以深、含水量高まる。
5					礫混じり砂	暗褐～暗褐灰	緩い		砂の粒径は粗～中位。φ30mm程度以下の亜角礫を混入。GL-5.30～-5.35m付近、火山灰質砂を混入。GL-5.35～-5.40m付近、有機質土を混入。
	218.04	0.90	5.70						
	217.84	0.20	5.90						
6									
7					砂混じりシルト	暗灰褐			粒径が中～細位の砂を混入。繊維状の木片を点在。粘性はやや弱い。含水量は多い。
8	215.29	2.55	8.45		砂礫	暗灰褐	密な～中位の		砂の粒径は粗～中位。φ30mm程度以下の亜角礫を混入。所々、火山灰質砂を混入。含水量はやや多い。

孔内水位(m)／測定月日：6/17　3.75

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	6	3	4	13/30	13
1.45					
2.15	2	3	2	7/30	7
2.45					
3.15	1	1	1	3/30	3
3.45					
4.15	1/15	1/15		2/30	2
4.45					
5.15	2	1	1	4/30	4
5.45					
6.15	7	8	8	23/30	23
6.45					
7.15	9	10	11	30/30	30
7.45					
8.15	4	4	21	29/30	29
8.45					



深度 (m)	試験名および結果	深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
3.75	現場透水試験 1.40E-7	4.00	P1-1	○	含水粒度	6/17
4.25		4.50				
						6/18

ボーリング柱状図

調査名	平成26年度 百沢地区地質調査業務
事業・工事名	

ボーリングNo H27-2

シートNo 2

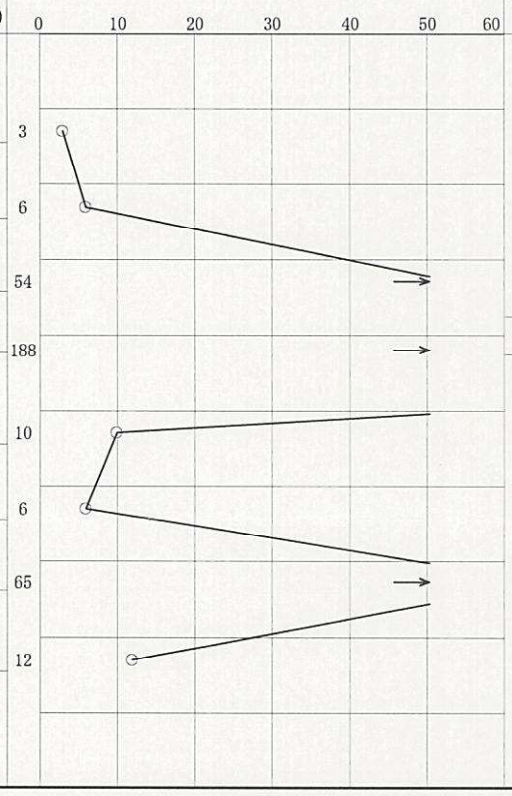
ボーリング名	No.2	調査位置	青森県弘前市百沢 地内					北緯	40° 37′ 6″
発注機関	弘前市 上下水道部			調査期間	平成 27年 6月 29日 ～ 27年 6月 30日			東経	140° 20′ 8″
調査業者名	株式会社 弘測コンサル 電話（0172-33-6820）	主任技師	宮本 伸悦	現場代理人	宮本 伸悦	コア鑑定者	宮本 伸悦	ボーリング責任者	宮本 伸悦
孔口標高	T.P. +183.733m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機：鉱研式 OP-1型 / ハンマー落下用具：半自動型
総掘進長	8.45m								エンジン：ヤンマーディーゼルNFAD-8型 / ポンプ：鉱研式 KP-2型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	183.13	0.60	0.60		盛土（シルト質有機土）	暗褐			GL-0.20m付近まで草根を混入。φ10mm程度の角礫が点在。
1 2					礫混じりシルト	暗褐～茶褐～暗褐暗灰		軟らかい～中位の	GL-2.50m付近までφ10mm程度以下、以深、φ30mm程度以下の亜角礫を混入。粘性はやや弱い。含水量は多い。
3	180.63	2.50	3.10						
4					砂礫	暗褐	非常に密な		砂の粒径は粗～中位。φ50mm程度以下の亜角礫を混入し、GL-4.20m付近φ250mm程度の凝灰質の玉石を混入。含水量は多い。
5	178.63	2.00	5.10						
6	177.83	0.80	5.90		礫混じり火山灰質砂	暗褐～暗灰	緩い		砂の粒径は中～細位。φ30mm程度の亜角礫を混入。GL-5.30m付近までやや分解の進行した木片を混入。含水量は多い。
7	176.83	1.00	6.90		砂質シルト	暗灰	中位の		粒径が中～細位の砂を混入し、φ5mm程度以下の軽石が点在。GL-5.90～-6.20m付近、φ30mm程度以下の軟岩を混入。粘性は弱い。含水量はやや多い。
8	175.28	1.55	8.45		礫混じり砂	暗褐～暗緑灰	非常に密な～中位の		砂の粒径は粗～細位。GL-7.00m～GL-7.30m間、粗粒砂を主体とし、φ30mm程度以下の亜角礫を混入。所々、厚さ5cm以下でシルトを層状に挟在。含水量はやや多い。
9									

孔内水位(m)／測定月日：6/30 1.25

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
2.15	1	1	4	6／30	6
3.15	18	19	13／8	50／28	54
4.15	50／8			50／8	188
5.15	1	3	6	10／30	10
6.15	1	2	3	6／30	6
7.15	16	30	4／3	50／23	65
8.15	4	2	6	12／30	12



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
3.75	現場透水試験 1.05E-5
4.25	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
3.10	P2-1	㊀	含水粒度	6／29
3.43				6／30

ボーリング柱状図

調　査　名　平成26年度　百沢地区地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo	H27-3

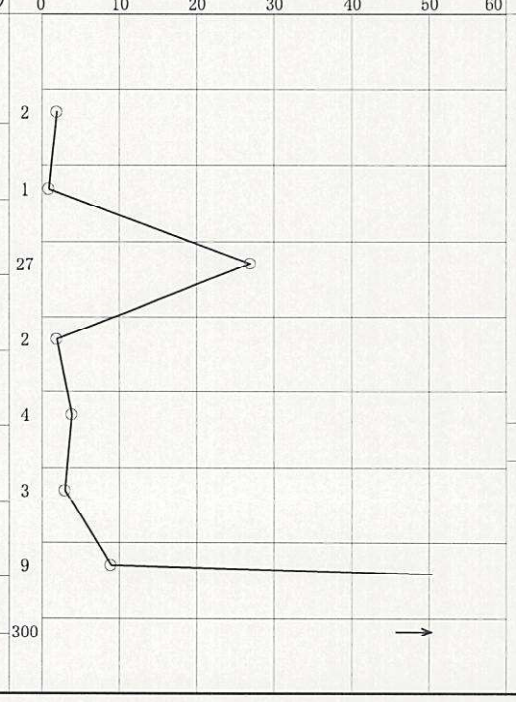
シートNo　3

ボーリング名	No.3	調査位置	青森県弘前市百沢　地内							北緯	40° 37′ 9″
発注機関	弘前市　上下水道部				調査期間	平成 27年 6月 19日 ～ 27年 6月 20日				東経	140° 21′ 13″
調査業者名	株式会社　弘測コンサル 電話（0172-33-6820）	主任技師	宮本　伸悦		現場代理人	宮本　伸悦	コア鑑定者	宮本　伸悦		ボーリング責任者	宮本　伸悦
孔口標高	T.P. +155.368m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	鉱研式　OP-1型
総掘進長	8.20m									エンジン	ヤンマーディーゼルNFAD-8型
										ハンマー落下用具	半自動型
										ポンプ	鉱研式　KP-2型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	154.97	0.40	0.40		盛土（礫混じり）	暗灰			GL-0.10m付近まで草根混入。φ20mm程度以下の砕石を混入。	6/20 0.64 ▽
	154.67	0.30	0.70		シルト					
1	153.97	0.70	1.40		有機質土	黒			シルト質で粘性はやや強い。	
2	152.87	1.10	2.50		シルト混じり砂	暗灰褐	非常に緩い		砂の粒径は中～細位。火山灰質を呈する。所々、シルト分の混入量多く粘性を帯びる。含水量はやや少ない。	
3					火山灰質砂	暗灰褐	非常に緩い		砂の粒径は中～細位。GL-1.60～-1.70m間、シルト分を混入。GL-2.65m付近、有機物混入。含水量は多い。	
4	151.22	1.65	4.15		火山灰混じり砂礫	暗灰褐	中位の		砂の粒径は粗～中位。φ30mm程度以下の亜角礫を主体。含水量は多い。	
5	149.87	1.35	5.50		砂混じりシルト	暗褐		非常に軟らかい～軟らかい	火山灰質を呈する。粒径が中～細位の砂を混入し、有機物およびφ5mm程度の礫の混入も見られる。	
6										
7	147.67	2.20	7.70		火山灰質砂	暗灰褐	非常に緩い～緩い		砂の粒径は粗～細位と不均一。所々、層状にシルトを挟在。含水量は多い。	
8	147.17	0.50	8.20		砂	灰褐	非常に密な		砂の粒径は粗～細位と不均一。石英砂混入。含水量多い。	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1／15	1／15		2／30	2
1.45					
2.15	0／20	1		1／30	1
2.45					
3.15	9	7	11	27／30	27
3.45					
4.15	1／15	1／15		2／30	2
4.45					
5.15	1	1	2	4／30	4
5.45					
6.15	1	1	1	3／30	3
6.45					
7.15	3	3	3	9／30	9
7.45	50／5			50／5	300
8.20					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
5.40	現場透水試験 2.12E-6	6.00	P3-1	⊖	含水粒度	6／19
5.90		6.50				6／20

ボーリング柱状図

調査名	平成26年度 百沢地区地質調査業務
事業・工事名	

ボーリングNo H27-4

シートNo 4

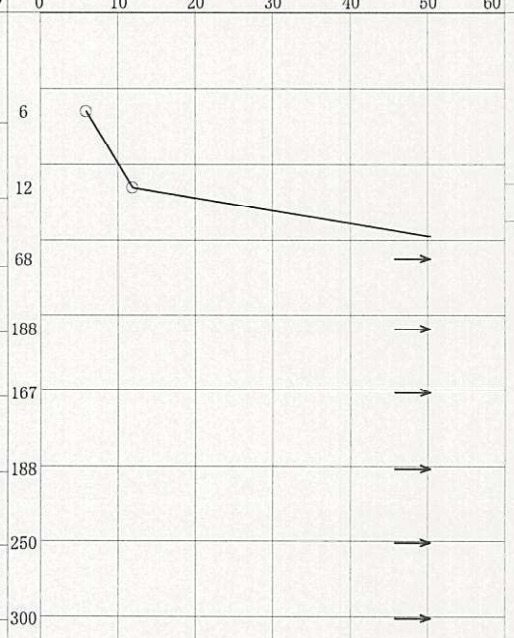
ボーリング名	No.4	調査位置	青森県弘前市百沢 地内					北緯	40° 36' 31"
発注機関	弘前市 上下水道部			調査期間	平成 27年 7月 1日 ～ 27年 7月 1日			東経	140° 21' 1"
調査業者名	株式会社 弘測コンサル 電話（0172-33-6820）	主任技師	宮本 伸悦	現場代理人	宮本 伸悦	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. +132.793m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	
総掘進長	8.05m							試錐機	鉱研式 OP-1型
								ハンマー落下用具	半自動型
								エンジン	ヤンマーディーゼルNFAD-8型
								ポンプ	鉱研式 KP-2型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	131.79	1.00	1.00		盛土（礫混じりシルト）	黒褐～暗褐			GL-0.10m付近まで草根を混入。φ30mm程度の亜角礫およびφ80mm程度の玉石状の礫を混入。含水量は少ない。
2	130.89	0.90	1.90		砂混じりシルト	暗褐灰	緩い		火山灰質を呈する。砂の粒径は中～細位。φ5mm程度の礫および軽石を混入。含水量はやや少ない。
3					礫混じり火山灰質砂	白灰～暗灰～黄灰	中位の～非常に密な		砂の粒径は粗～細位。φ40mm程度以下の亜角礫を主体とし、φ60mm程度の玉石状の礫を混入。φ10mm程度以下の軽石を混入。含水量はやや少ない。
4									
5									
6									
7									
8	124.74	6.15	8.05						

孔内水位(m)／測定月日：7/1 2.16

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	2	2	2	6／30	6
1.45 2.15	5	3	4	12／30	12
2.45 3.15	12	29	9／2	50／22	68
3.37 4.15	50／8			50／8	188
4.23 5.00	50／9			50／9	167
5.09 6.00	50／8			50／8	188
6.08 7.00	50／6			50／6	250
7.06 8.00	50／5			50／5	300
8.05					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
2.25 2.75	現場透水試験 1.59E-6

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）
2.00 2.50	P4-1	○	含水粒度

掘進月日：7/1

ボーリング柱状図

調査名	平成26年度 百沢地区地質調査業務	ボーリングNo	H27-5
事業・工事名		シートNo	5

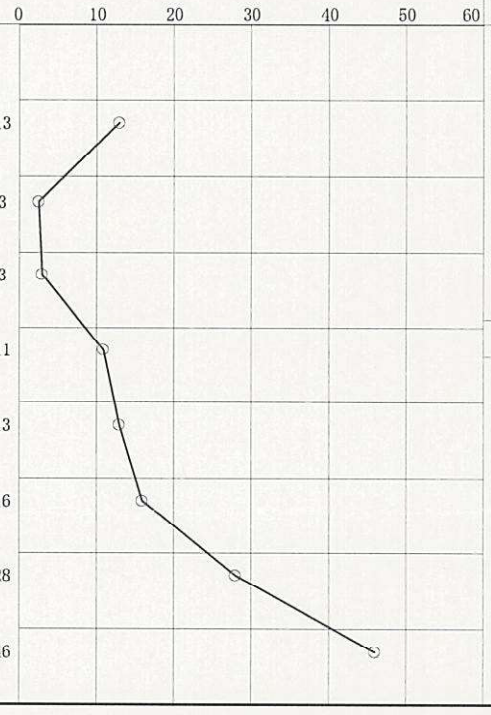
ボーリング名	No.5	調査位置	青森県弘前市百沢 地内					北緯	40° 36' 34"
発注機関	弘前市 上下水道部			調査期間	平成 27年 7月 3日 ～ 27年 7月 6日			東経	140° 21' 6"
調査業者名	株式会社 弘測コンサル 電話（0172-33-6820）	主任技師	宮本 伸悦	現場代理人	宮本 伸悦	コア鑑定者	宮本 伸悦	ボーリング責任者	宮本 伸悦
孔口標高	T.P. +142.150m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機 鉱研式 OP-1型 / ハンマー落下用具 半自動型
総掘進長	8.50m								エンジン ヤンマーディーゼルNFAD-8型 / ポンプ 鉱研式 KP-2型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	140.25	1.90	1.90		盛土（礫混じりシルト）	黒褐～暗褐		中位	GL-0.10m付近まで草根を混入。 φ60mm程度以下の亜角礫を混入。 全般に有機質土を混入。 含水量は少ない。
2	139.15	1.10	3.00		有機質土	黒		非常に軟らかい	繊維状の有機物を多量に混入。 GL-2.50m付近、やや分解の進行した木片を混入。 GL-2.70m付近、φ50mm程度の亜角礫を混入。 粘性はやや弱い。 含水量は非常に多い。
3									
4	137.15	2.00	5.00		火山灰質砂	黄灰	中位の		粒径が中～細位の砂。 GL-3.90m付近、φ40mm程度の亜角礫を混入。 粘性はやや弱い。含水量は多い。
5									
6					礫混じり火山灰質砂	黄灰～褐	非常に緩い～中位の		砂の粒径は中～細位で、所々、シルト質を呈する。 GL-7.80m付近、φ100mm程度の玉石を混入。 含水量はやや多い。
7									
8	133.65	3.50	8.50						

孔内水位(m)／測定月日：7/3 2.18

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	3	7	13/30	13
1.45					
2.15	1/15	1	1	3/35	3
2.50					
3.15	1	1	1	3/30	3
3.45					
4.15	3	3	5	11/30	11
4.45					
5.15	4	3	6	13/30	13
5.45					
6.15	3	4	9	16/30	16
6.45					
7.15	10	10	8	28/30	28
7.45					
8.15	7	11	28	46/30	46
8.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
3.89	現場透水試験 9.45E-7	4.00	P5-1	⊙	含水粒度	7/3
4.39		4.50				
						7/6

ボーリング柱状図

調査名	平成26年度 百沢地区地質調査業務
事業・工事名	

ボーリングNo H27-6

シートNo 6

ボーリング名	No.6	調査位置	青森県弘前市百沢 地内					北緯	40° 36' 31"
発注機関	弘前市 上下水道部			調査期間	平成 27年 6月 11日 ～ 27年 6月 16日			東経	140° 20' 52"
調査業者名	株式会社 弘測コンサル 電話（0172-33-6820）	主任技師	宮本 伸悦	現場代理人	宮本 伸悦	コア鑑定者	宮本 伸悦	ボーリング責任者	宮本 伸悦
孔口標高	T.P. +124.676m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機：鉱研式 OP-1型 / ハンマー落下用具：半自動型
総掘進長	15.03m								エンジン：ヤンマーディーゼルNFAD-8型 / ポンプ：鉱研式 KP-2型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	124.48	0.20	0.20		盛土（有機質シルト）	暗褐			草根を混入。
	123.78	0.70	0.90		盛土（砂礫）	褐			砂の粒径は粗～細位。φ40mm程度以下の亜円礫および亜角礫を混入。
	122.98	0.80	1.70		火山灰質砂	暗灰～黒灰	緩い		砂の粒径は粗～細位。有機物を混入。含水量は少ない。
					玉石混じり砂礫	黒灰～暗灰	非常に密な		砂の粒径は粗～中位。礫はφ60mm程度以下の亜円礫・亜角礫を主体。玉石はφ200mm以下で、凝灰質および安山岩質。GL-7.80m付近より以深、玉石を密に混入。含水量は多い。
	111.53	11.45	13.15		砂礫	淡褐～暗灰	非常に密な		砂の粒径は粗～中位。φ40mm程度以下の亜円礫・亜角礫を主体とし、φ60mm程度の亜角礫点在。GL-14.50m付近、φ100mm程度の玉石を混入。
	109.65	1.88	15.03						

孔内水位(m)／測定月日：6/16 1.80

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	2	1	4	7／30	7
1.45					
2.15	9	22	19／5	50／25	60
2.40	50／9			50／9	167
3.00					
3.09					
4.15	17	16	17／8	50／28	54
4.43	50／1			50／1	1500
5.15					
5.16	50／3			50／3	500
6.00					
6.03					
7.15	50／8			50／8	188
7.23	50／5			50／5	300
8.00					
8.05	50／1			50／1	1500
9.00					
9.01	50／2			50／2	750
10.00					
10.02	50／2			50／2	750
11.00					
11.02	50／2			50／2	750
12.00					
12.02					
13.15	14	23	13／3	50／23	65
13.38	50／1			50／1	1500
14.00					
14.01	50／3			50／3	500
15.00					
15.03					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
5.03	現場透水試験 7.03E-5
5.53	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
4.00	P6-1	○	含水粒度	6／11
4.43				
				6／12
				6／15
				6／16

ボーリング柱状図

調査名	平成26年度 百沢地区地質調査業務
事業・工事名	

ボーリングNo	H27-7

シートNo 7

ボーリング名	No.7	調査位置	青森県弘前市百沢 地内							北緯	40° 36' 32"
発注機関	弘前市 上下水道部					調査期間	平成 27年 6月 11日 ～ 27年 6月 16日			東経	140° 20' 53"
調査業者名	株式会社 弘測コンサル 電話（0172-33-6820）	主任技師	宮本 伸悦			現場代理人	宮本 伸悦	コア鑑定者	宮本 伸悦	ボーリング責任者	宮本 伸悦
孔口標高	T.P. +124.641m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	鉱研式 OP-1型	ハンマー落下用具 半自動型
総掘進長	15.08m								エンジン	ヤンマーディーゼルNFAD-8型	ポンプ 鉱研式 KP-2型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	124.14	0.50	0.50		盛土（有機質シルト）	暗褐			表層、草根混入。φ10mm程度以下の亜角礫を混入。
	123.84	0.30	0.80						
1					有機質土	黒褐			繊維状の有機物を混入。
2	122.14	1.70	2.50		シルト混じり砂礫	黄褐～灰褐	非常に密な～中位の		砂の粒径は粗～中位。 φ30mm程度以下の亜角礫混入。 火山灰を混入し、所々、粘性を帯びる。 GL-2.00m付近より以深、含水量非常に多い。
3					砂礫	暗灰	非常に密な		砂の粒径は粗～中位。 φ30mm程度以下の亜円礫・亜角礫を主体とし、φ50～70mm程度の玉石状の礫が点在。 含水量は多い。
4	120.54	1.60	4.10						
	120.04	0.50	4.60		砂質シルト	暗灰		硬い	粒径が中～細位の砂を混入。 やや分解の進行した木片を多量に混入。 粘性はやや弱い。含水量は多い。
5					玉石混じり砂礫	暗灰	非常に密な		砂の粒径は粗～中位。 礫はφ30mm程度以下の亜円礫・亜角礫を主体。 玉石はφ200mm程度以下の凝灰質および安山岩質。 含水量は多い。
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15	109.56	10.48	15.08						

孔内水位(m)／測定月日：6/16 1.65

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	31	19		50/17	88
1.32		7			
2.15	10	3	7	20/30	20
2.45					
3.15	23/9	25	2/1	50/20	75
3.35					
4.15	2	3	4	9/30	9
4.45	50/4			50/4	375
5.15					
5.19	50/3			50/3	500
6.15					
6.18	50/3			50/3	500
7.00					
7.03	50/2			50/2	750
8.00					
8.02	50/4			50/4	375
9.00					
9.04	50/4			50/4	375
10.00					
10.04	50/6			50/6	250
11.15					
11.21	50/3			50/3	500
12.00					
12.03	50/8			50/8	188
13.00					
13.08	50/7			50/7	214
14.15					
14.22	50/8			50/8	188
15.00					
15.08					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
2.49	現場透水試験 1.13E-5
2.99	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
3.00	P7-1	⊖	含水 粒度	
3.35				
				6/11
				6/12
				6/15
				6/16

ボーリング柱状図

調査名　平成26年度　百沢地区地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo	H27-8

シートNo　8

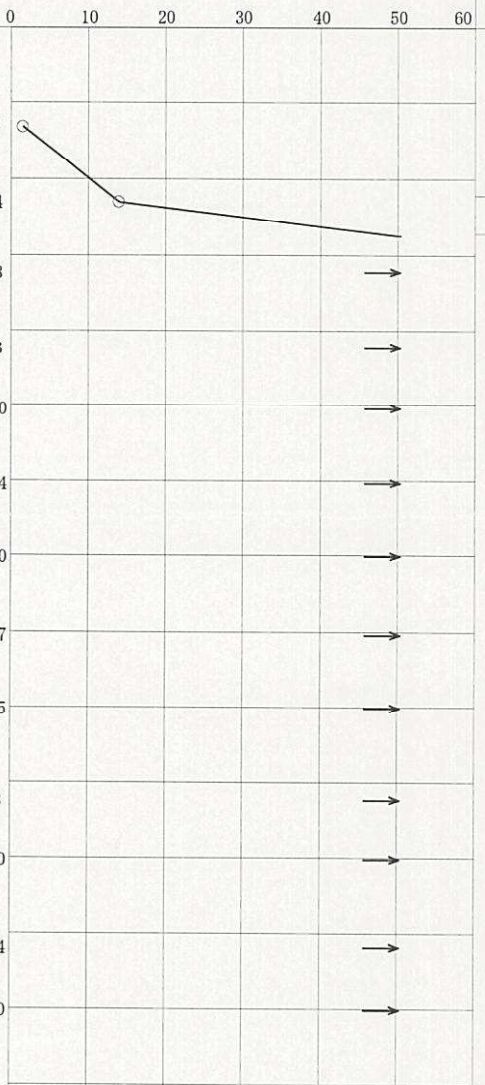
ボーリング名	No.8	調査位置	青森県弘前市百沢　地内							北緯	40° 36′ 30″
発注機関	弘前市　上下水道部				調査期間	平成 27年 5月 28日 ～ 27年 6月 8日				東経	140° 20′ 53″
調査業者名	株式会社　弘測コンサル 電話（0172-33-6820）	主任技師	宮本　伸悦		現場代理人	宮本　伸悦	コア鑑定者	宮本　伸悦		ボーリング責任者	宮本　伸悦
孔口標高	T.P. +124.371m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	鉱研式　OP-1型	ハンマー落下用具　半自動型
総掘進長	15.07m								エンジン	ヤンマーディーゼルNFAD-8型	ポンプ　鉱研式　KP-2型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	124.17	0.20	0.20		盛土（有機質シルト）	暗褐			草根を混入。
1	123.37	0.80	1.00		盛土（礫混じり有機質シルト）	黒～淡黒褐～黒			表層、草根を混入。 GL-0.50～0.60m間、火山灰を混入し、淡褐色。 φ50mm程度以下の亜角礫を混入。
2	122.67	0.70	1.70		有機質土	黒		非常に軟らかい	全般に分解の進行した草根を混入。 層上部、φ20mm程度以下の亜角礫を混入。 粘性やや強い。 含水量はやや多い。
3	121.67	1.00	2.70		礫混じり砂	灰	中位の		砂の粒径は粗～細位。 φ30mm程度以下の亜角礫を混入。 GL-2.00m付近より以深、含水量は非常に多い。
4									
5	118.97	2.70	5.40		砂礫	暗灰	非常に密な		砂の粒径は粗～中位。 φ50mm程度以下の亜角礫を主体とし、最大φ120mm程度の玉石を混入。
6					玉石混じり砂礫	暗灰	非常に密な		砂の粒径は粗～中位。 礫はφ50mm程度以下の亜角礫を主体。 玉石は最大φ150mm程度以下で凝灰質および安山岩質。 GL-4.20m付近より以深、礫密度高く、礫・玉石主体。 GL-11.20m付近より以深、全漏水し、著しい孔壁崩壊。 含水量は多い。
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13	111.17	7.80	13.20						
14	110.57	0.60	13.80		礫混じり砂	暗灰	非常に密な		砂の粒径は中位を主体。 φ30mm程度以下の亜角礫、φ100mm程度の玉石混入。
15	109.30	1.27	15.07		玉石混じり砂礫	暗灰	非常に密な		砂の粒径は粗～中位。 礫はφ30mm程度以下の亜角礫を主体。 玉石は最大φ100mm程度以下で凝灰質および安山岩質。 含水量は多い。

孔内水位(m)／測定月日：6/9　1.98

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1		2/35	2
1.50	17	18			
2.15	5	5	4	14/30	14
2.45	15	35		50/17	88
3.15		7			
3.32	18	32		50/18	83
4.15		8			
4.33	50			50/10	150
5.00					
5.10	50			50/7	214
6.00	7				
6.07	50			50/3	500
7.00	3				
7.03	50			50/9	167
8.00	9				
8.09	50			50/4	375
9.00	4				
9.04	10	40		50/17	88
10.15		7			
10.32	50			50/5	300
11.00	5				
11.05	50			50/7	214
12.15	7				
12.22	50			50/3	500
13.00	3				
13.03	29	21		50/18	83
14.15		8			
14.33	50			50/7	214
15.00	7				
15.07					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
2.22	現場透水試験 1.60E-5	2.00 2.50	P8-1	⊖	含水粒度	5/28
2.72						5/30
						6/1
						6/2
						6/3
						6/6
						6/8

ボーリング柱状図

調　査　名　平成26年度　百沢地区地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo	H27-9

シートNo　9

ボーリング名	No.9	調査位置	青森県弘前市百沢　地内					北緯	40° 36′ 31″
発注機関	弘前市　上下水道部			調査期間	平成 27年 6月 10日 ～ 27年 6月 17日			東経	140° 20′ 54″
調査業者名	株式会社　弘測コンサル 電話（0172-33-6820）	主任技師	宮本　伸悦	現場代理人	宮本　伸悦	コア鑑定者	宮本　伸悦	ボーリング責任者	宮本　伸悦
孔口標高	T.P. +124.365m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	
総掘進長	15.11m								

試錐機	鉱研式　OP-1型	ハンマー落下用具	半自動型
エンジン	ヤンマーディーゼルNFAD-8型	ポンプ	鉱研式　KP-2型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	124.17	0.20	0.20		盛土（有機質シルト）	褐			草根を混入。
1	123.47	0.70	0.90		盛土（混じり有機質シルト）	褐			表層、草根を混入。 φ50mm程度以下の亜角礫混入。
2	121.57	1.90	2.80		有機質土	黒		非常に軟らかい	全般に分解の進行した草根混入。 φ50mm程度以下の亜角礫点在。 粘性やや強い。
3	120.67	0.90	3.70		シルト質砂	灰		非常に軟らかい	粒径が中～細位の砂混入。 φ30mm程度以下の亜角礫点在。 含水量非常に多い。
4	119.57	1.10	4.80		砂礫	暗灰	非常に密な		砂の粒径は粗～中位。 φ50mm程度以下の亜角礫を主体。 含水量は多い。
5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	109.26	10.31	15.11		玉石混じり砂礫	暗灰	非常に密な		砂の粒径は粗～中位。 礫はφ50mm程度以下の亜角礫を主体。 玉石はφ330mm程度以下で凝灰質および安山岩質。 GL-13.35～-14.30m間、安山岩質の転石。 含水量は多い。

孔内水位(m)／測定月日：6/19　1.24

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	0／13	1／22		1／35	1
1.50					
2.15	0／7	1／28		1／35	1
2.50					
3.15	1／12	1／18		2／30	2
3.45	50／7			50／7	214
4.00					
4.07	50／5			50／5	300
5.00					
5.05	50／3			50／3	500
6.00					
6.03	50／5			50／5	300
7.00					
7.05	50／5			50／5	300
8.05					
8.10	50／2			50／2	750
9.15					
9.17	8	11	15	34／30	34
10.15					
10.45	13	16	16	45／30	45
11.15					
11.45	50／4			50／4	375
12.00					
12.04	50／4			50／4	375
13.15					
13.19	50／1			50／1	1500
14.00					
14.01	50／6			50／6	250
15.05					
15.11					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
4.72	現場透水試験 1.63E-5
5.22	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				6／10
				6／11
				6／12
10.00 10.50	P9-1	⊖	含水粒度	6／15
				6／16
				6／17